**アンケートピックアップ**

**11月20日 Loco Partners 代表取締役社長　篠塚　孝哉　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

Reluxさんのサイトは旅行の際に利用させていただいているので、とても興味深くお話を聞くことができました。ありがとうございました。最初に、世の中の潮流についてのお話はとても面白かったです。「世界が落下している」という考え方はとても新鮮でした。音楽のダウンロードのお話とかで止めようとする団体はいても、落下は止まらないというのは、確かにそうだなと納得しました。また、旅行は自分自身好きで、いろいろなサイトを利用しているので、Reluxの経営戦略だとか、サービスの糸とかをお話聞くことができたので、よかったです。また、篠塚さんのこれまでの歩みとか、Loco Partnerのこれまでの歩みを見て、別にすべてがうまく行くわけではないんだなと感じて、すぐそこで身近に感じたので、篠塚さんの今日のたくさんのありがたいお話をしっかり自分メモをしていきたいです。(経済学部1年)

「夢はだんだん成長していく」という言葉は大切にしていきたいです。また、「どんなことでもよいから、何か一つ頑張ることでいつか何かのためになる」という言葉が胸に刺さりました。何でもいいから、一つ頑張れることを見つけようと思いました。「選択肢には意味がない」という言葉を聞き自分の価値観が揺らぐような思いでした。自分のした選択を正しい方に持っていきたいです。(教育学部　学校教育　1年)

「余暇時間が増えている。残業がどんどん減っている。」というのは本当？と思った。データがあるなら見せてほしかった。でも、これから先減っていくというのは感覚的にそうなりそうだと思った。学びメモがどのように役立ってどう大切なのか知りたかった。「夢が無くても大丈夫。」という言葉には励まされた。焦らなくても良いと考えることができた。(都市科学部　都市社会共生学科　1年)

１００％カスタマーオリエンテッドの話がとても興味深いものでした。サービスにおいて大量の情報が欲しいわけではなく、ピンポイントに抽出した情報がほしいというお話は、自分の経験からしても確かにそうだなと思いました。(理工学部　数物電情学科　3年)

世界の潮流に関しての表現「世界は落下している」というのはわかりやすくしっくりきました。根元的ニーズは変わらず媒体が変わっていくだけだという考え方はどこの業界でも世界をみていく上で良い指標になりそうだなと思いました。落下していく先が変わった時その先をどう発見していくのか疑問に感じた。Reluxの経営成績のグラフを見たときに急上昇していたので「おお！」と思ったのですが、内にいる側の話では順調な時期はなかったということは衝撃的で、数字だけで勝手に判断したりしないようにしようと思いました。ベンチャーは経営の面でいえば急成長していてもどこもそのような感じなのでしょうか。（経済学部　１年）

広告に掲載される宿の順番が広告費を払った順番であったら満足度を使わないかもしれないので、満足度の高い順番で掲載をしてくれているという点はとてもはとても素晴らしい制度だと思いました。旅行はどんな人にとってもワクワクするものであり、楽しいものにしたいという気持ちが大きいと思うのでこのようなアプリは私達にとって必要だと思いました。夢を持っていなくても良いという話や、頑張った点が線になるという話は自分から頑張らなくてはいけない目の前のことをひたすらにやっていく中で実現する話なのだということが分かりました。今まで利用したことがなかったのですが、Reluxを利用してみたいと思います。（理工学部　化学・生命系学科　2年）

旅行のプラットフォームは「結び付ける」ものだから、客側のことだけではなく、企業や宿側のことも考えなければならないのだと感じた。夢はなくて大丈夫という言葉に共感した。前もってプランを決めてしまうと、柔軟性を失ってしまうかもしれないと考えるからである。正解の道を無理に作るよりも、それた道を正解にする努力をする方が必要なのではないかと思った。（経営学部　1年）

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

ジョブズの言葉を紹介する人に今週2回であったので、是非ビデオを見てみようと思う。今まですごく考えて行動する方だったが、イギリスに住みたいという感覚だけで長期の留学を選択した。この選択をプラスにしていけるように、超本気で英語勉強して、好きな分野を頑張りたいです。（経済学部　１年）

就職をする際には、企業の表層的な点のみではなく、コアな部分を見た方がいいという話にとても納得しました。ただ、そのコアを見極めるための知識が自分にはまだ足りていないと思い、自分の専門外の勉強も始めるいい機会にしようと思いました。(理工学部　数物電情学科　3年)

本日の講義の中で、やはり今後のアクションにつながるお話が詰まっていたのは、最後の生き方の3つの心得というお話でした。最初の、学びメモを作ろうというお話では、今自分もいろいろな方からお話を聞いて、学びメモを作ってはいるのでただただ作るだけで終わるだけじゃないようにしていきたいと思います。また、最後の選択無意味論のお話はとても驚きました。僕の恩師も同じようなことを言っていて、置かれた場所で咲きなさいという言葉があります。この言葉と篠塚さんの選択無意味論を大事にしていきたいと思います。(経済学部1年)

**授業スタッフの感想**

今回の講義で特に印象に残っているのは選択無意味論だ。なぜなら「選んだ方向を正しくすればいい」という言葉は春学期のリーダーシップの講義でご登壇いただいたリンク・アイの渡辺さんの「選んだ道を正解にする」という言葉と通ずるところがあると思ったからだ。やはり大切なことなのだと改めて思った。自分も物事に対して必ずやりきる！という姿勢をもって頑張りたい。また、Reluxの話を聞いて旅行に行きたくなったので是非本サービスを利用して行きたいと思う。

技術革新は止まらない。それに伴いエンタメが伸びる、体験の質がどんどん向上していくというのに興味がわいた。エンタメ系に携わりたいと思っているのですごく将来が楽しみになった。旅行業界のここ10年の大幅な変化に驚きました。様々な業種や形態の電子化が進む中で、個々にあったものを求める人の増加が引き起こした結果であると感じました。考え方も十人十色であり、他の人とは違った生き方をしたいと思う人も多くなっていると感じました。